

解答

(1) ② (2) ① (3) ③ (4) ④

(1) 正解②

選択肢の和訳

- ① 楽観主義は常に人を動機づける一方、悲観主義は常に行動を妨げる。
- ② どちらの考え方も、あらゆる状況で有益なわけではない。
- ③ 悲観的な人は将来の困難を想像するため、より健康である。
- ④ 人は成功についても失敗についても考えることを避けるべきである。

本文の対応箇所

第 1 段落第 3～4 文：

Yet psychologists argue that neither style is always beneficial. The same thought can motivate one person but make another apathetic and unwilling to act.

解説

心理学者は、楽観主義と悲観主義のどちらも常に有益とは限らないと考えています。同じ考えでも、人によって異なる影響を与えるため、②が正解です。

(2) 正解①

選択肢の和訳

- ① 自分の弱点を見つけ、復習するよう生徒を促すことができる。
- ② 難しい試験をかなり簡単にすることができる。
- ③ 予想外の問題に備える必要をなくすることができる。
- ④ 根拠がなくても、自信を保証することができる。

本文の対応箇所

第 2 段落第 2～3 文：

Such reflection may seem depressing, but it can help them identify risks and prepare. A student worried about an examination, for example, may review weak areas carefully.

解説

失敗の可能性を考えることで、危険や弱点を見つけ、事前に準備できます。試験を心配する生徒が弱点を丁寧に復習する例が示されているため、①が正解です。

(3) 正解③

選択肢の和訳

- ① 問題への備えを楽しみすぎるようになる可能性がある。
- ② あらゆる心的外傷の記憶を、さらに強める可能性がある。
- ③ 有用な警告を含む懸念を、人々が隠す原因になる可能性がある。
- ④ 教師や管理職を完全に無関心にする可能性がある。

本文の対応箇所

第 3 段落第 4 文：

If teachers or managers demand aggressive positivity, people may hide concerns that contain compelling warnings.

解説

過度に前向きであることを強制すると、人々は問題点を口にしにくくなります。その結果、重要な警告まで隠される可能性があるため、③が正解です。

(4) 正解④

選択肢の和訳

- ① 重要な決定をする前に、恐怖を取り除く。
- ② 慎重な準備より役立つため、楽観主義を選ぶ。
- ③ 慣れない状況に直面するたびに、悲観主義を用いる。
- ④ それぞれの状況で、どちらの態度が役立つかを判断する。

本文の対応箇所

第4段落第1～4文:

A better approach is to nurture flexible thinking. People can examine whether a hopeful or cautious attitude helps in a particular situation. ... wisdom lies in knowing when each is appropriate.

解説

筆者は、楽観か悲観の一方に固定するのではなく、個々の状況に応じて有効な態度を選ぶ柔軟な思考を勧めています。したがって④が正解です。

全訳

悲観主義が役立つとき

人は日常生活において、楽観主義を健全なもの、悲観主義を有害なものとして扱うことが多い。楽観的な人は成功を期待する一方、悲観的な人は暗い未来を想像することがある。しかし心理学者は、どちらの

考え方も常に有益であるわけではないと主張する。同じ考えが、ある人を動機づける一方で、別の人を無関心にし、行動する意欲を失わせることもある。

「防衛的悲観主義」とは、重要な出来事の前に起こり得る失敗を想像する方法である。このような熟慮は気を重くさせるように思えるかもしれないが、危険を見つけて準備するのに役立つ。例えば、試験を心配する生徒は、その科目を完全に避けるのではなく、自分の弱い分野を注意深く復習することがある。それに対して、根拠のない自信は、困難を過小評価する原因になり得る。

この方法はすべての人に適しているわけではない。失敗を繰り返し想像することが、いら立たしく、さらには心的外傷を与えるものになる人もいる。とりわけ心配の度合いが強い場合はそうである。また、問題に備えることは役立つ一方で、楽しみを減らすため、相反する感情を抱く人もいる。教師や管理職が過度に積極的な態度を求めれば、人々は重要な警告を含む懸念を隠すかもしれない。

よりよい方法は、柔軟な思考を育てることである。人は、希望に満ちた態度と慎重な態度のどちらが、特定の状況で役立つかを検討できる。目標は恐怖をなくしたり幸福を強制したりすることではなく、感情を有益な行動へ変えることである。楽観主義は粘り強さを支え、悲観主義は準備を改善できる。大切なのは、それぞれがいつ適切かを知ることである。